夏秋なすのカメムシ類の防除

JA 全農とちぎ園芸部　流通対策課
栃木県農政部　経営技術課

1　なすを加害するカメムシ類

カメムシ類の写真					
種類	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	カスミカメ類	ミナミアオカメムシ	アオクサカメムシ
体長	10㎜程度	13～18㎜	4～6㎜	12～15㎜	12～15㎜
主な寄生植物	・植物の結実状況に応じて非常に多くの種類の寄生植物を移動する。 ・種によって異なり、ナス科などの野菜類のほか、マメ科、イネ科、果樹類、スギ、ヒノキなどに寄生する。				
加害部位	茎葉、果実	茎葉、果実	茎葉（新葉）	茎葉、果実	茎葉、果実

2　カメムシによる被害状況

果　実	茎　葉
・吸汁部位のくぼみ、表面の凹凸 ・匂いによる品質低下	・不規則な孔や奇形葉の発生 ・加害部から先のしおれ ・茎葉の伸長停止

※写真提供：栃木県

3　防除対策

- 被害症状の**早期発見**に努め、**早期に薬剤防除**を実施する。
- ソルゴーや防虫ネットを活用し、障壁を設置して侵入を防止する。
- 葉裏に卵塊で産卵し、若齢幼虫は集団で加害するため、葉ごと取り除き、葉裏まで**丁寧に薬剤を散布**する。
- ほ場周辺のイネ科やマメ科の作物や雑草（ヨモギなど）からほ場へ侵入するため、**除草作業**を徹底する。
- 薬剤抵抗性の発達を防ぐため同一系統、同一 RAC コードの連用を避ける。